

馬場桂子

さん



温かい場所へ、
気兼ねなく帰って来てほしい

地元を離れて

武雄町に生まれ育ち、就職を機に福岡へ移住しました。その後結婚し、長女・次女と子宝にも恵まれました。そう思えば、長らく地元を離れていたんだと思います。

「子どもたちのため」と決めた

離婚後、そのまま福岡に残るという選択もありましたが、当時まだ1歳と4歳の小さい子どもたちを抱えて働くことは現実的に難しかったと思います。両親の「帰ってきなさい」との声に背中を押され、離婚届けを出したその足で武雄の実家に帰ってきました。その日から約9年間は同居し、今は同じ地区に別世帯で住んでいます。帰ってくることに全く不安はなく、仕事は何かできるだろうと考えていました。実際仕事を始めてからも、気の許せる同級生や母のサポートのおかげで、仕事に加えて小学校や中学校の役員をしながら、ここまで来ること

ができました。育友会に携わったことで、色んな保護者と出会うことができ、その出会いは私の支えであり大きな財産です。

離婚に対するネガティブな気持ちもありませんでした。しかし、少なからず子どもたちにはさみしい思いをさせていたと思います。近くにいる祖父母のおかげで少しはさみしが和らいでくれていれば良いと思います。離婚後の生活スタイルにどれが正解というのはいませんが、引け目は感じなくていいと思います。帰ってくることに障害にはならないです。武雄は特に病児保育や高校生までの医療費助成など、「子育て」に力を入れていますので、市政をふくめ地域全体であなただけの子育てを助けてくれると思いますよ。

戻って改めて感じる地元の温かさ

武雄の良いところは人が温かいところです。受け入れてくださる風土があります。そして地域みんなが

シングルマザー × 3世代同居 × Uターン

Keiko Baba

「飛翔倶楽部たけお」代表
元御船が丘小学校育友会会長 前武雄中PTA会長
離婚後、福岡からUターン移住。子どもたちが大きくなった現在も、武雄市の教育事業に関わり、尽力している。

飛翔倶楽部たけお

「一生懸命はカッコいい」を合言葉に本気の練習に励み、「一生懸命」の後の達成感とおして子ども達が将来の夢や可能性を見出せる居場所として継続活動していく。
お問い合わせ / hisyokulabutakeo@gmail.com



気にかけて、声をかけてくれます。そのおかげで帰って来ても、本当に良くしていただき、すぐに打ち解けられました。
地域がこんなにも温かいことを感じてほしいとの思いから、地域の中で表現活動を通して人づくりを目的に発足した「飛翔倶楽部たけお」の代表をしています。現在は「コロナで舞台公演などはできていませんが、小学生から高校生の子どもたちが文化会館などで練習しています。子どもたちに故郷武雄を好きになってもいい、帰って来る場所だと思ってもらえるような活動にしていきたいですね。



本田孝篤

さん



何かやりたいことがある方は是非、
移住は二つの手段

武雄に来る前は

出身は熊本です。上京し就職した後は40年間東京の会社に勤めていました。技術職で元々ものづくりが好きで、料理も好きで自分で作りますし、「私がいなくても大丈夫ね」と妻にも褒められます。

「好きなことをやる」と決めていた

陶器(磁器)が好きで退職する10年ほど前から有田陶器市などには来ていました。ずっと陶器を作ってみてみたかったですね。まさか移住してまでするとは思わなかったですが、(笑)移住して妻とは別居になっているのですが、反対はされませんでした。「好きなことをやったら」と。そんな家族の理解もあり、今は武雄の楠峯地区に古民家を購入し、暮らし始めて5年になります。1人で暮らしていますが、近所の

移住は目的ではなくて手段

方も良くしてくれて、すごく充実した暮らしを送っています。1年に1つずつ新しい事に挑戦していますので、好きで始めた焼き物の他に、養蜂、養鶏、畑仕事...とどんどん楽しみが増えています。別居して意外だったのは、夫婦の会話が増えた事です。毎日電話をするようになり、現役時代よりもお互いが何をしているかわかっているかもしれません。

最近リモートワークやテレワークなどが広まり、田舎に住みながら仕事ができるからと移住する方もいると聞きますが、個人的にはどちらも中途半端になると思います。好きなことをやるには場所がない、その手段が多いのはやはり自然や土地が多い田舎、ということになるのかなと思います。私の場合は磁器の焼き物を作りたいだったので、地元の熊本という選択はなかったし、あとは美味しい食べ物に

リタイア × 趣味 × Jターン

Takaatsu Honda

陶器(磁器)に魅了され、退職を機に神奈川県から移住。自身で陶器の制作をしている。
武雄・楠峯地区に購入した古民家をリノベーション。景観に富んだこだわりの家となっている。



景色：それにマッチングしたのが武雄でした。今は人口が減ってきていて、どの自治体でも移住を推奨していますよね。でもそれは単なるシェア争いであって、そもそも移住自体が目的ではないはずなんです。その方が何をやりたいか、何を生活の中で大切にしているか、何をして、移住はその手段。何かやりたいことがある方は是非武雄も見てみてください。もしかしただら、あなたの目的とぴったり合う暮らしが見つかるといいですね。



定住支援金・定住特区支援金

市外から転入し、住宅を新築または中古住宅・空き家の購入、空き家の賃借(賃借は定住特区補助金のみ対象)して定住される方に対し、補助金を交付します。

- 補助金 / 20万円～
- 定住特区 / 橘町・若木町・武内町・東川登町・西川登町・山内町の一部・北方町の一部

詳しくは /

ハブ都市・新幹線課
TEL. 0954-23-9160

同居・近居移住支援給付金

武雄市へ令和3年4月以降の転入で、三世帯同居・近居が成立し、6か月が経過した場合
● 10万円(長崎県からの転入の場合は、5万円を加算)

※三世帯近居...同居でなくても武雄市内に三世帯が武雄市内に居住している状態を指します。

親・子・孫 ○ 親・孫・ひ孫 ○
一番下の世代に中学生以下の方がいることが必須です。胎児でも該当します。

詳しくは /

ハブ都市・新幹線課
TEL. 0954-23-9160